

つながりの中でくらす  
望まれた人として生きる  
自分らしく生きていく



No.

21

2009年7月発行

### 3団体合同企画

## みんなでぼっちゃやっちゃ～！！

自立生活センター・あるる + 大工大ボランティア教育研究会 + ほうぶ

2009年6月27日(土) 17:30～20:30

会場：大阪市立長居障害者スポーツセンター

参加者：33名

ボッチャ好きなあるると、あるるとほうぶにいつもボランティアで関わってくれている大阪工業大学ボラ研のメンバーに誘われて、合同企画したボッチャ大会。何度ルールを聞いてもよくわからず、「誰でも参加できます」のお誘いだけを頼りに、ボッチャを初体験しました。

ボッチャとは、ヨーロッパで生まれた四肢重度機能障害者のために考案されたスポーツで、パラリンピックの正式種目です。ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、赤・青（チームで6球ずつ）のボールを投げたり、勾配具（ランプス）で転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競います。

（日本ボッチャ協会より引用）



参加者は、8歳から49歳までと年齢の幅も広く、障害もさまざま、障害のある人もない人も一緒に楽しみました。あるると大工大ボラ研がオリジナルルールを考えてくれて、一味ちがうボッチャにみんなで盛り上がりました。



## 子どもから始める

# 「個人将来計画」

## ～障害をもつ子どもの自立に向けた支援～

### ◆2009年度 第1回 個人将来計画ワークショップ

日時：2009年5月2日（土）18:00～21:00

場所：大阪市立城北市民学習センター 会議室1

参加者：Aさんに関わる教師、友人、医師、ピアカウンセラー、支援者（ヘルパー、ボランティア、施設職員ほか）、保護者の合計21人

内容：進学で大きく生活が変わったAさんの個人将来計画の見直しと作成のために、参加者で意見を出しあった。以下、ワークショップの流れ。

1. これまでを知る（保護者紹介）

参考資料：ライフヒストリーアルバム

2. みんなで知り合おう ～サポートネットワーク作り～

・自己紹介しながらAさんとのエピソードを紹介

・Aさんはこんな人、こんなところがある

（好きなこと、嫌いなこと、性格のこと etc.）

作成シート：プロフィールmap②「Aさんってどんな人」

3. みんなで語り合おう ～将来に向けての活動計画と支援計画～

・Aさんのやりたいこと

・Aさんにやってほしいこと

・Aさんと一緒にやりたいこと

作成シート：将来map①「Aさんのやりたいこと」

4. 感想を聞きあおう

（感想から） ・いろいろな人がいろいろな意見を出し合って楽しかった。

・Aさんと一緒に面白いことがしたいと思った。

・Aさんも楽しそうだった。 ・視界も世界も360度のAさんだと思った。

### ◆第1回 個人将来計画ワークショップの振り返り

日時：2009年6月30日（火）18:00～21:00

場所：大阪市立城北市民学習センター 会議室3

参加者：個人将来計画検討委員、作業所スタッフ 合計8人

内容：ワークショップの振り返り、支援についての具体的な計画づくりと課題の検討

### ● ボランティア募集 ●

“ほうぶ”では、個人将来計画の作成事業において、子どもの余暇活動のサポートなどを行ってくださるボランティアを募集しています。子どもの自立に向けた支援という創造的な活動を一緒にしませんか？ 子どもと一緒にいろいろな出会いや体験をしませんか？ 子どもと楽しい時間を作ってください。大学の卒業論文のテーマとしてもいかがでしょうか？ 個人将来計画作成の検討会や勉強会に参加して学ぶこともできます。

# 旭区情報 子育て支援

## 第1回 子育てわいわい広場 in Asahi

2009年7月9日(木)10:00~12:00

会場：大阪市立旭区民センター 小ホール

主催：旭区子育てサロン連絡会・旭区保健福祉センター・旭区社会福祉協議会

協力団体：旭区民生委員協議会・ネットワーク推進員連絡会

旭区食生活改善推進員協議会「しょうぶの会」

あさひ子育てネットワーク「きしゃぽっぽ」

旭子育て支援センター・旭区子ども子育てプラザ

旭図書館・旭消防署

旭区で子育てに関わるさまざまな団体や施設が協力をして、「第1回子育てわいわい広場」が開催されました。絵本のコーナー、バルーンアートのコーナー、フォトシールコーナー、ぬり絵・さかなつりコーナーなどが設置され、いくつかの大型遊具が置かれ、ステージ（平面ですが）では、エプロンシアター、手遊び、読み聞かせなどが行なわれました。最後にはみんなで体操をしました。会場は親子連れであふれるほどで、大ホールで開催しても良かったのとはという声も。でも、初めてのイベントなので、参加者数は予測できません。主催者も「こんなに集ってくださるとは」と驚いておられました。それだけ、「場」を求めている子育て中の家庭がたくさんあるということです。

あさひ子育てネットワーク「きしゃぽっぽ」を立ち上げる時、「一緒にネットワークをつくりませんか？」と、区内あちこちを回りました。それぞれの団体が熱心に活動をしていらっしゃるのですが、なかなか「つながる」ことの大切さを理解してもらえず、「きしゃぽっぽ」は十数グループの子育てサークルや子育て支援グループから成るネットワークになりました。でも、その後、旭区地域福祉計画(アクションプラン)の作成や実施に伴い、地域で活動されている方々と知り合うことができました。地域の活動が活性化すると共に、地域住民の方々も行政の職員の方々も、大きな子育て支援の輪が必要と感じてくださるようになったと思います。

子育て支援の「あさひの輪」もでき、今回、「子育てわいわい広場」も開催され、子育て支援の活動のつながりが大きく広がってきたことを本当に嬉しく思いました。「きしゃぽっぽ」を立ち上げる時に区内を自転車で走り回ったことを感慨深く振り返りました。

これからも、いろんな団体や施設、グループとつながって、子育てが楽しいといってもらえる旭区であるように活動していきたいと思いました。



## 「臓器移植法の改定」に思う

向井裕子

脳死を一般的に「人の死」と位置付け、臓器提供の年齢制限を撤廃する改正臓器移植法(A案)が6月18日衆議院で可決され、7月13日に参議院で可決、成立しました。これまで禁じられていた15歳未満の子どもからの臓器の摘出が行なわれることになり、本人が生前に拒否表明していなければ家族の同意のみで臓器提供が行なわれることとなります。

「『死の定義』が法律で変えられる！」恐怖に近い思いが心をよぎりました。

私の娘は、胎児の時に医師から、「産まれても生きていくことのできない子だから、覚悟しておくように」と言われました。15歳の今、元気に高校に通っています。毎日を楽しそうに暮らしています。生きてくれていることに感謝の日々です。病気の子どもが「臓器移植で助かる」と言われれば、何とか助けたいと思います。子どもの誕生の時に「死」に向き合い、「産まれること」「生きていくこと」「死んでいくこと」を考えてきましたから、生かしたいと願う親御さんの思いは伝わってきます。けれど、だからこそ、いのちの重さを思うと、臓器提供を前提に、人の生と死が線引きされ、代替資源のように扱われていくことを危惧します。

娘が産まれた時、医師が人のいのちの長さをはかることなどできないと、子どもの生命力は医療では予測できないと思いました。何の信仰も持たない私ですが、人は産まれたくて生まれ、生きたくて生きていくのだと感じました。子どもの「いのち」の可能性は無限です。臓器提供を求められる側から見れば、明日に目覚めるかもしれない子ども、そのいのちを「死」と判定して臓器を取り出すなんて怖いことです。それも、麻酔を使って。死んでいたら、麻酔など必要ないはずです。私が、重い障害をもつ娘を受け容れたのは、初めて腕に抱いたときの娘のからだの温もりでした。その温かさに生きていこうとする娘の「いのち」を感じました。きっと、「脳死」とされている子どもさんのご家族も、子どものからだの温かさに生きていくことを感じ続けているのだと思います。

人が人の死の定義を変え、「死」の判定をするなんて、本当に怖いと思います。「前もって『法的脳死判定』を拒否できるから問題ない」とのことで、「脳死」＝「人の死」とされましたが、幼い子どもたちや意思表示が困難な人たちは、どうやって判定を拒否するのでしょうか。家族の判断として、家族に子どものいのちの長さを決めさせるなんて残酷です。さらに、家族の思いと本人の思いが一致するとは限りません。本人の「生きたい」という願いは誰がどう代弁するのでしょうか。「死」の定義が法律で変えられることは、難病や重度障害をもっている人の延命中止や尊厳死へとつながり、難病や重度障害を持って生きることも否定する社会になっていく危険があります。いのちが軽視される生き辛い社会へと進んでいくことでしょう。

「いのち」に関わる問題が、衆議院解散騒ぎの中、拙速な審議により結論が出されたことに大きな怒りと憤りを感じています。



## ●講座やイベントのお知らせ●

### ★公演のお知らせ

第2回豊中平和演劇祭 「明日の平和のために、今、私たちにできること」

8月21日(金)・22日(土)・23日(日)

① デュオきんたろう「平和をうたうライブ」

② 劇団金太郎飴「夏の伝言」

「夏の伝言」は広島市立船入高校が創作し、2004年度の全国高校演劇コンクール  
広島大会で金賞受賞。中国大会で優秀賞を受賞した作品。豊中・能勢・伊丹の  
現役高校生が、熱い舞台を展開します。

日時：8月21日(金) 18:00～ ① 19:00～ ②

22日(土) 13:00～ ② 14:15～ ① 15:00～ ②

会場：すてっぷホール（阪急宝塚線豊中駅 駅となりエトレビル5階

豊中駅の改札を出て、右の連絡通路）

チケット：1日券1,000円（中高生500円、小学生以下は無料）

主催：豊中平和演劇祭実行委員会 後援：豊中市教育委員会

問合せ：ほたる企画 TEL 06-6840-5656 mail hotarukikaku@tcct.zaq.ne.jp

### ★子育て支援イベントのお知らせ

「楽しく広げよう子育てのWA!」第2回 マジック・人形劇を楽しもう!

日時：8月22日(土) 13:30～15:30

13:30～マジック・南京玉すだれ 15:00～人形劇「ピッピとポッポ」

会場：大阪市立城北市民学習センター 講堂 (大阪市旭区高殿6-14-6)

参加費：無料

定員：親子30組（当日先着順・申し込み不要）

主催：大阪市立城北市民学習センター 協力：あさひ子育てネットワークきしゃぽっぽ

予告「楽しく広げよう子育てのWA!」第3回 親子でリトミック(9月10日木曜日)

問合せ：大阪市立城北市民学習センター TEL 06-6951-1324 FAX 06-6951-1304



暑い日が続いています。年々、暑くなっているように感じるのですが、気のせいでしょうか？それとも地球温暖化の影響？エコブームの昨今、ブームに乗るのはどうも好きにはなれないのですが、ブームで終わらないように、乗っかってみることも大切かなと思っています。

暑さ厳しき折、くれぐれもご自愛ください。

